

1 平成28年度 墨田区学習状況調査速報値

平成28年10月6日  
墨田区立中川小学校

教科	観 点	墨田区学習状況調査結果										全国学力・学習状況調査	
		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		6年A	6年B
		目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	本校平均 正答率	本校平均 正答率
国語	国語への 関心・意欲・態度	73.8	72.3 79.8	61.9	63.9 60.5	69.4	76.2 74.6	63.8	74.2 66.6	67.5	73.4 73.9	49.2	54.7
	話す力・聞く力	75.0	77.5 82.4	63.8	61.8 64.9	72.2	80.2 78.3	69.4	77.8 75.4	71.7	82.3 80.6	81.8	79.2 51.1
	書く力	70.0	65.0 75.0	59.4	68.2 56.3	62.7	69.7 66.7	55.5	66.7 56.1	64.6	67.5 69.3	75.8	48 53.4
	読む力	72.5	68.9 76.7	65.7	61.1 66.0	67.5	66.1 69.4	68.2	65.8 70.9	67.5	70.3 75.8	77.3	67.7 69.3
	言語についての 知識・理解・技能	88.9	90.9 94.4	83.2	77.8 85.8	72.2	81.8 73.9	69.6	83.7 75.1	67.2	72.9 71.2	71.5	71.1
社会	社会的現象への 関心・意欲・態度					44.3	36.2 44.9	51.3	56.9 55.3	59.2	63.5 63.9		
	社会的な 思考・判断・表現					46.9	39.2 47.2	51.3	56.9 55.3	59.6	64.7 65.0		
	観察・資料活用 の技能					59.0	52.8 59.5	54.8	53.9 53.1	61.3	71.6 69.8		
	社会的現象について の知識・理解					63.1	58.3 63.5	63.8	66.3 64.0	65.5	67.9 68.2		
算数	算数への 関心・意欲・態度	71.1	64.4 74.9	59.0	46.1 56.4	67.5	73.4 67.6	60.8	71.5 59.2	55.0	52.5 51.9		
	数学的な考え方	74.5	70.3 76.6	63.0	50.4 62.9	58.1	67.4 59.2	59.4	73.1 61.3	60.6	61.4 60.9	41	40.9
	数量や図形に ついての技能	85.4	86.0 88.7	78.1	69.2 79.2	75.6	80.7 78.0	71.3	78.5 71.8	72.7	72.3 73.1	84.2	50 53.3
	数量や図形について の知識・理解	84.1	81.9 87.8	66.1	52.8 67.4	77.0	79.5 78.2	65.0	75.0 64.7	70.2	68.4 71.3	74.9	70.3 69.5
理科	自然現象への関 心・意欲・態度					65.0	60.5 62.9	64.4	66.1 66.1	64.2	65.5 65.5		
	科学的な思考 ・表現					60.3	55.7 59.0	61.1	64.6 64.0	59.2	58.3 60.1		
	観察・実験の 技能					60.4	52.9 59.9	65.0	73.5 69.7	63.1	57.5 63.6		
	自然現象について の知識・理解					68.7	65.9 69.7	65.6	67.8 68.5	71.2	70.3 73.3		

※全国学力・  
学習状況調査  
の結果につき  
ましては、10月  
下旬までに公  
表する予定で  
す。

- 1) 目標値：学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した児童の割合を示したもの。観点ごとの目標値は、設問ごとに設定された目標値をもとに算出されている。
- 2) 平均正答率：正答率の平均値のこと。観点における学年のデータとして用いる際は、その観点の全設問における学年集団の正答率の平均値。なお、正答率を算出するうえで、記述・論述式問題の準正答（部分点）については、正答数を0.5として換算している。

2 区調査結果の分析

<p>◇良い点 27年度、第6学年の国語において5観点中2観点が社会、算数においては、4観点中4観点とも目標値を下回ってしまったが、28年度は国語、社会ともに全ての観点で目標値を上回った。算数においても目標値を下回りはしたものの5ポイント以内であった。毎日の授業を大切にすること、落ち着いた授業に取り組むよう全ての教員が共通意識をもって取り組んできたことが調査結果の上昇につながった。また、4・5年算数では、4観点全て目標値を超えている。算数科を核に既習事項を生かし、自分の考えをもって問題解決型の授業に取り組んでいった結果、児童が主体的に考える活動を意図的に増やしていったことが要因として挙げられる。</p> <p>◆課題点 国語の「読む力」の観点では、6学年以外2・3・4・5学年で目標値を下回った。 2・3年生の算数では4観点中3観点以上、目標値を下回った。基礎・基本の定着が不十分である。</p> <p>◎改善の方向性 特に下学年の算数では基礎基本を定着させるため、東京ベーシックドリルを活用し、振り返り、繰り返しの学習を行っていく。基礎基本の定着を図る。授業内で適応問題に取り組み、授業の定着度合いを把握し、授業改善を図る。また、放課後学習でも、基本的事項を繰り返し行い全体の底上げと全体の学力向上を目指していく。</p>
--

※今後、調査結果の詳細な分析を行い、「学力向上を図るための全体計画」（学校としての授業改善プラン）を、10月下旬（予定）までに公表いたします。